

第5節 遊水地課

〔総括概要〕

遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、普及・啓発、藤岡遊水池会館及び渡良瀬遊水地ハートランド城の管理、環境保全・ワイズユース関係である。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会など庁外の各種会議に参加し、他自治体などと連携、調整を行った。

渡良瀬遊水地の普及・啓発については、ラムサール条約登録記念日を中心としたPR活動の実施、講演会の開催、各種イベントへのPRブースの設置等、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に親しみを持っていただけるような事業を行った。また、4月より開館したハートランド城の活用を図り、渡良瀬遊水地の役割や、広大な自然環境についてわかりやすく楽しく学んでもらうため、展示物・看板等の整備を行った。

環境保全については、渡良瀬遊水地の現状を把握するための生態系調査として、植物の現地調査を行った。また、希少植物保全のための外来植物除去活動を行った。そのほか、ヨシ原内の害虫駆除、樹林化防止等のため、ヨシ焼きを行った。

ワイズユースについては、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成として渡良瀬遊水地ボランティアガイドやヨシ細工指導スタッフ、熱気球体験スタッフの養成講座を行ったほか、環境学習やスポーツなど渡良瀬遊水地を活用したイベントを実施した。また、渡良瀬遊水地の様々な資源や環境の保全に取り組む“守り人”として行動し、未来につなげる活動を推進するため、会員組織のファンクラブである渡良瀬ナイツクラブの運営を行った。

企画調整係

1 渡良瀬遊水地に係る企画・調整

(1) ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において開催されたラムサール条約登録湿地関係市町村会議主管者会議及び交流・学習会に出席した。

- ・実施日 11月1日（木）～11月2日（金）
- ・会場 荘銀タクト鶴岡（山形県鶴岡市）
- ・参加市町村 ラムサール条約登録湿地52か所のうち20か所（33市町村）

また、環境省により12月21日に開催されたラムサール条約推進国内連絡会議に、ラムサール条約湿地関係自治体代表として出席した。

(2) 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会、治水団体、利用者団体、環境保護団体など44の構成員からなる「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」において、各団体の

情報共有・意見交換を行ったほか、団体の紹介と遊水地内で実施されるイベント等を一覧にしたパンフレット作成のための検討を行った。

また、協議会の下部組織である部会を開催し、栃木市が部会長となっている「賢明な利活用及び地域振興検討合同部会」では、ヨシ焼きの継続実施とヨシの新たな利用をテーマとして、具体的な取組の検討を行った。

第6回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

- ・実施日 8月1日（水）
- ・会場 小山市 道の駅思川 小山評定館 研修室
- ・参加団体数 32団体

(3) 三県境事務担当者会議

栃木、群馬、埼玉の3県に跨る三県境について、歩いて行ける平地にある立地条件等から地域の観光資源として、板倉町及び加須市と連携して利活用を図るため、定期的に担当者による情報交換を行った。また、5月20日には、遊歩道など施設整備の完成を記念したイベントとして、「三県境フェア」を共同開催した。

2 渡良瀬遊水地の普及・啓発

(1) エコライフinとちぎ～渡良瀬遊水地講演会～

環境課との共催事業として栃木文化会館において「エコライフinとちぎ」を開催し、広大で自然豊かな渡良瀬遊水地から広がる環境保全活動について啓発を行うための講演会を同時開催した。また、展示室では、環境保全等の取組を行っている市民団体及び企業等による体験・展示を実施したほか、渡良瀬遊水地で生育しているヨシを使用した『ヨシ灯り』の展示やヨシ細工づくり指導スタッフの協力によりミニよしづくり体験を行った。

- ・実施日 2月9日（土）
- ・会場 栃木文化会館
- ・来場者数 350人
- ・演題 渡良瀬遊水地のひみつ～自然と歴史、隠れた魅力を楽しもう～

3 藤岡遊水池会館管理

(1) 施設管理

建物、駐車場及び施設内設備・物品の維持管理を行った。また、市民交流の場として、一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が運営する渡良瀬遊水地湿地資料館と連携して情報発信に努めた。

(2) 施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に貸し付けている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
276	5,926	125,350

1 渡良瀬遊水地保全活動

(1) 渡良瀬遊水地クリーン作戦

渡良瀬遊水地の美化促進及び自然環境の意識高揚を図るため、地域住民及び一般利用者が参加し、清掃活動を実施した。

実施日	場所	参加者	収集量
4月21日（土）	渡良瀬遊水地 第1調節池	530人	一般ゴミ 2 t 粗大ゴミ 0.5 t 産廃ゴミ 1 t

(2) 希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を保全する必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、希少植物保全のための外来植物等除去活動の参加者を募り実施した。

実施日	場所	人数	保全植物
5月 2日（水）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	8人	ノジトラノオ
5月12日（土）	渡良瀬遊水地 史跡保全ゾーン	30人	ハナムグラ他
6月27日（水）	渡良瀬遊水地 第1調節池内	15人	ノジトラノオ

(3) 渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

渡良瀬遊水地は国指定の絶滅危惧種を含む希少植物が多く生育する豊かな自然環境にあるが、その生育環境が悪化している場所も見受けられる。そこで、ラムサール条約湿地登録後の生態系調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供するため、生育の状況や環境についての必要な調査をし、生育位置図などの資料を作成する委託業務を実施した。

(4) 環境学習池の維持管理

谷中湖北側の史跡保全ゾーンに本市が占有している環境学習池（ハート池）があり、池内は約20種類の絶滅危惧種植物が生育している特異な場所であるため、雑草を定期的に刈り取り、良好な生育環境の保全を行った。

(5) ヨシ焼き

害虫の駆除、樹林化の防止及び治水容量の確保のため、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもとヨシ焼きを実施した。ヨシ焼きは、野火や放火などの火災防止となるほか、多くの貴重植物などの発芽・生育を促進し、遊水地固有の豊かな自然環境の保全にも寄与している。

- ・実施日 3月16日（土）
- ・関係者数 約830人
- ・見学者数 約9,200人
- ・焼却面積 1,200ha（8割）

2 渡良瀬遊水地利活用

(1) 人材育成

ア 渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

講座	実施期間	内容	会場	人数 (人)	回数
中級	4月14日(土) ～10月20日(土)	ボランティアガイド実践等	体験活動センター わたらせ 他	8	6回

イ 熱気球係留スタッフ養成講座

- ・実施日 9月～3月の熱気球イベント開催日
- ・内容 熱気球係留の準備
- ・参加者 2人
- ・講師 (一社) 栃木市熱気球クラブ

(2) 環境学習

ア 親子水辺教室 (ラムサール条約登録記念日事業)

- ・実施日 7月22日(日)
- ・会場 体験活動センターわたらせ及び谷中湖
- ・内容 水質調査、カヌー体験、ミニよしずづくり、ヨシ紙すき
- ・参加者 18人(7組)

(3) スポーツ活用

ア Eボートレース2018渡良瀬大会

- ・実施日 8月18日(土)
- ・会場 谷中湖(北ブロック)
- ・主催 Eボートレース渡良瀬大会実行委員会
- ・後援 国土交通省利根川上流河川事務所
- ・参加 24チーム

イ 渡良瀬遊水地フェスティバル2018

- ・実施日 9月2日(日)
- ・会場 谷中湖北ブロック子供広場ゾーン
- ・主催 渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会
- ・来場者 約15,000人
- ・内容 自転車競技のタイムトライアル、スカイスポーツやウォータースポーツの体験や展示等

(4) 第19回渡良瀬遊水地フォトコンテスト

- ・主催 渡良瀬遊水地フォトコンテスト実行委員会
- ・後援 下野新聞社ほか
- ・賛助 (一社) 関東地域づくり協会
- ・応募者 139人(323点)
- ・入賞作品 最優秀賞1点、優秀賞1点、準優秀賞2点、入選8点、特別賞8点
佳作20点

・展示会場 渡良瀬遊水地湿地資料館ほか

(5) 「渡良瀬ナイツクラブ」の運営

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地をより良く活用するために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを運営した。

・会員数 一般会員 135人
特別会員 5人
サポート店 3店

・ナイツクラブ通信発送回数 7回

(6) 複合的な事業

ア 夏のわくわく大作戦

谷中湖及びその周辺を有効利用するため、環境学習及び各種体験を実施した。

実施日	場所	参加人数	内容
6月9日（土）	史跡保全ゾーン及び谷中湖	53人	希少種探しゲーム・観察 Eボートの体験 ガイド説明付きサイクリング ミニよしずづくり

イ 水と大地のミニミニ探検

谷中湖及びその周辺を有効利用するため、環境学習及び各種体験を実施する予定だったが、天候不良のため、一部を変更して実施した。

実施日	場所	参加人数	内容
10月27日（土）	ハートランド城	20人	ヨシ細工づくり (ミニよしずづくり及びヨシの紙すき体験)

ハートランド城係

1 ハートランド城施設整備

渡良瀬遊水地の役割や、広大な自然環境についてわかりやすく楽しく学んでもらうための展示物・看板等の整備を実施した。

- ・平常時、洪水時比較フロアシート、三県境フロアシート、クイズパネル15枚
- ・野鳥パネル50枚、植物パネル50枚、スカイスポーツパネル、ヨシ焼きパネル
- ・チュウヒなどの野鳥原寸大模型3種、遊水地立体模型1台
- ・駐車場案内看板、施設表示大型看板、館内展示物用ブラインド

2 渡良瀬遊水地の普及啓発

(1) ラムサール条約登録記念日、PR強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日を、ラムサール条約登録記念

日、7・8月をPR強化月間として、各種PR活動を行った。

ア 栃木市役所 本庁舎への懸垂幕の掲示

・掲示期間 6月8日～7月5日

イ 栃木市内公共施設へののぼり旗の掲示

・掲示期間 6月4日～7月3日

ウ ヨシに願いを！開催

・実施日 7月7日（土）

・会場 渡良瀬遊水地ハートランド城

・参加者 6組17人

エ フォトコンテスト巡回展開催

・実施期間 7月10日（火）～7月22日（日）

・会場 道の駅みかも無料休憩所

オ 渡良瀬遊水地ぐるり旅開催

・実施日 7月3日（火）、7月6日（金）、7月17日（火）、7月20日（金）、
8月1日（水）、8月3日（金）

・会場 渡良瀬遊水地ハートランド城～遊水地内

・参加者 33人

カ つばめのねぐら入り観察会開催

・実施日 8月21日（火）、8月24日（金）

・会場 渡良瀬遊水地ハートランド城～遊水地内

・参加者 28人

(2) エコライフ・フェア2018へ出展

渡良瀬遊水地の普及啓発に資するため、環境省主催『エコライフ・フェア2018「湿地の恵み展～ラムサール条約湿地の観光と物産」』に職員7人を派遣し、2日間に渡りPR活動を行った。ポスター掲示及びチラシ設置の他、キャラクター着ぐるみによるPR、ミニよしず作り体験を実施した。

・実施日 6月2日（土）～3日（日）

・会場 代々木公園（東京都渋谷区）

(3) 渡良瀬遊水地PR活動

渡良瀬遊水地の周知を図るため、各イベントにおいて普及啓発ブースを設置し、パネル展示やチラシ配布等を行い、PR活動を行った。

ア 渡良瀬遊水地ハートランド城オープニングイベント

・実施日 4月7日（土）、4月8日（日）

・会場 渡良瀬遊水地ハートランド城

イ 藤岡ふくしまつり

・実施日 10月21日（日）

・会場 藤岡公民館駐車場

ウ ふじおか産業祭

・実施日 11月11日（土）

・会場 藤岡遊水池会館駐車場

エ 三県境3周年記念イベント

- ・実施日 3月16日(土)
- ・会場 加須市道の駅たかわべ

(4) 渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

ハートランド城展示物整備において顔出しパネル、クイズパネルに活用した。

(5) 渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみによるPR活動

平成26年度に制作した^{ハーツ}Heart's姫、^{わたらせナイフ}Watarase712の2つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント等に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのPR活動を行った。

3 人材育成

(1) 人材育成

ヨシ細工指導スタッフ養成講座

- ・実施日 9月～2月の第1水曜日
- ・内容 ヨシ細工の製作方法とヨシの生育および水質浄化作用について
- ・会場 ハートランド城 他
- ・参加者 2人
- ・回数 6回

(2) 渡良瀬遊水地ガイドクラブの支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動におけるスケジュール調整や組織運営の支援を行った。また、ガイド申込書の受付業務も行った。

・ガイド案内実績

	谷中湖周辺	ハートランド城	合計
日数(日)	307	113	420
利用者数(人)	4,653	2,053	6,653

4 ハートランド城管理

(1) 施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物、駐車場及び施設内設備・物品の維持管理を行った。

(2) 施設の貸館状況

研修室の貸付を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
29	747	13,800